

越中最大の松倉城跡を中心とした 里山の暮らしと地域の再興

～ 山城の国史跡指定に向けた地域活性化と
古民家再生・移住者受入れの取組み ～



国史跡指定を目指す松倉城跡



松倉地区から臨む富山湾



小菅沼ヤギの杜の田んぼアート



魚津市イメージキャラクター
ミラたん



富山県魚津市 松倉地区
(魚津市地域協働課 石川 竜也)

令和6年4月



富山県魚津市 (UOZU CITY) の概要

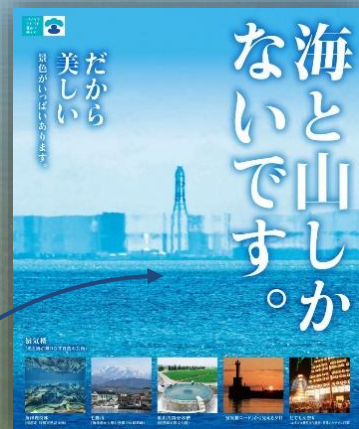
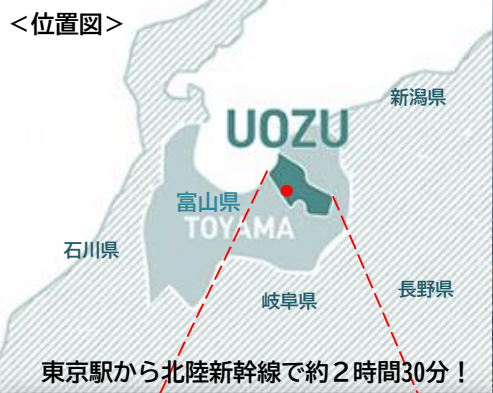
◆市制：昭和27年施行

◆人口：39,145人

(※人口・世帯数は令和6年3月1日現在)

◆面積：200.61km²

◆世帯：16,934世帯



光と風が織りなす
自然の芸術「蜃気楼」
(魚津市の三大奇観の1つ)

天然のいけす「富山湾」で
獲れる豊富な魚介類



受入地区の現状・課題とR4年度の取組み

▼ 現状と課題

魚津市内13地区の中で松倉地区も市平均より高齢化が進み、人口減少に伴う地域力の衰退、空き家の増加、担い手不足、耕作放棄地などの課題が山積

「歴史と文化を育む松倉」地区データ (R5. 8末時点)

松倉地区内人口 (人)		909	松倉地区高齢化率 (%)		36.5
人口内訳	15歳未満	78	【参考】	魚津市高齢化率	34.5
	15~64歳	499		富山県高齢化率	33.0
	65歳以上	332		全国高齢化率	29.0

▼ 令和4年度の取組み

まつくら未来会議を実施 (富山県中山間地域話し合い促進事業を活用)

- ・松倉地区の若いメンバーを中心にワークショップ等を実施
- ・**まつくら未来計画** (素案) を策定 ⇒ 今後地域内の若手を中心に活動を本格化!



事業名	X年 (利活用決定後)	オープン1~5年目								
外部交流・移住	松倉もちりカフェ ○概要 年齢・男女を問わず、気軽に集って自然に食したり、体験したりして楽しむ場所 ○場所 松倉保育園 (空き家も検討) ○時間 9:00 から 19:00	準備 ①保育館の改修→市に依頼 (トイレ、水廻り) ②松倉自治振興会 松倉自然交流部会を協議 人材、スタッフ募集 もちもちハウスに協力 運営費、人材育成 メニュー、商品開発 周知活動	スタッフの賃金、シフト アンケート調査 メニュー追加 (ジビエ料理) 店内の様子を SNS で発信	メニュー増 利用者増 収入増 地域に還元 →若い世代にされる	そば打ち体験 みんなが待つ暮らせる村“まつくら”					
	MATSUKURA NATURE ACTIVITY PARK ○概要 親子が気軽に自然体験ができる。松倉のフィールドを使って遊び、アクティビティ後、空き家をゲストハウスとして宿泊し、松倉を堪能してもらおう。 ○運営日及び時間 土・日・祝日 9:00~17:00	サイクリング用自転車準備 バギーコース設置 利用料金の検討 安全管理の確認 体験者の保険加入 アクティビティ利用者向けのカフェ (週末)	1年目 農業体験 (稲作、そば、サツマイモ) →体験田の活用、体験中の写真撮影 サウナの設置	2年目 イワナの買い付け 空き家の確保 →リノベーション (場所、設備状態)	3年目 旧松倉小プールで釣り堀 (無料) 宿泊用品の確保 ジップラインの整備	4年目 アスレチック設置 ラフティング・カヌーの整備	費用 クラウドファンディング スポンサー募集	クラウドファンディング	クラウドファンディング	料金プランの見直し
コミュニティ	松倉ホテルのキャンプ場 (松倉キャンプ村) ○概要 地区内外のコミュニケーションの場として旧松倉小学校グラウンドにキャンプ場、BBQ広場を開設。キャンプ場を拠点にホテルを現に松倉城跡、やまの杜へ (地区内外) ・旧松倉小グラウンド ・旧坪野小跡 ・松倉城跡入城の門広場 ・クリンティの森	松倉自治振興会 キャンプ場会の設置 地域性で各種イベントを行っている まつくらのコミュニティ活動をスタートさせる ・キャンプの日 ・BBQ 用かまどの設置 ・星空観賞会 ・花火大会	スタート 管理者が必要 まきわり体験							
	山村プチ留学 in まつくら	(4月) 松倉自治振興会 (商会) 事業者の募集 役員の出選 NPO 法人立ち上げ	(9月) 空き家 (県6) 持ち主と交渉 (熊倉・坪野・栗山町周辺) ・補助金調査 NPO 法人設立 月別定例会 ・拠点リーダーを決める (地元若手、学生) ・事業プランの検討	(4月) 補助金申請 留学プラン作成 協力者の募集	(9月) 補助金獲得 →空き家の改修 改修イベント (DIY 体験) モデルツアーの実施 (学校に合わせたプラン) 広報活動	(4月) 事業スタート	資金 まちづくり交付金、寄附金	福祉・生活環境、子育て・教育	産業・雇用	事業スタート



FSプログラムで学生に提案いただきたい・期待すること

▼ 地域の弱み、強み、目指すところ

【弱み】中山間地域であるが故に…

→ 少子高齢化に伴う地域内人口・世帯数の減少、空き家の増加、地域づくり活動や地域資源の維持管理に係る担い手不足など

【強み】中山間地域であるからこそ…

→ 受け継がれるべき地域の歴史・文化、人のつながり・温かさ、地域で育まれた食、四季折々の恵まれた自然などの地域特性や地域資源（右図参照）

【目指すところ】

⇒ 地域の「面的」な活性化に向けて地域内の意識を醸成し、地域内外を問わず若い世代を含めた多くの人々が参画できる活動を行い地域を元気にすること。

▼ 学生に提案いただきたいこと、期待すること

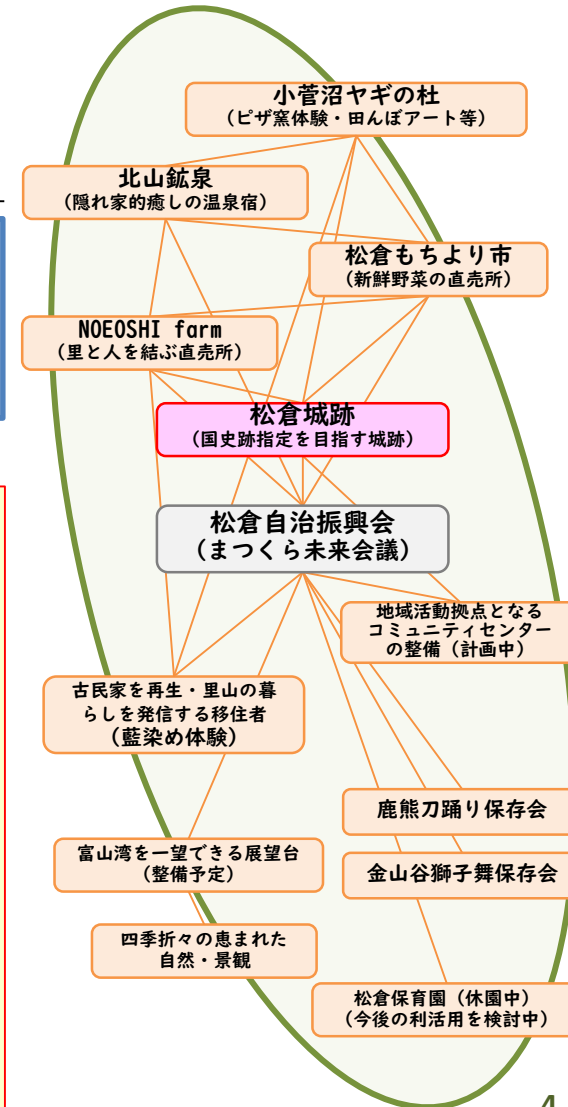
【★メイン★】

松倉地区の地域性を深く知っていただくため、右記のような地域資源等に触れ、体験いただき、課題名にあるとおり「**松倉城跡を核とした地域の活性化**」に係る具体的な提言・提案をお願いしたい。

【◇サブ◇】

- ・ 空き家も大きな課題であり、空家の利活用や古民家再生について、地域外の若い学生の視点から何らかのヒントをいただきたい。
- ・ 活動の1つとして「まつくら未来会議」の地域の若いメンバーと意見交換会を行うなど積極的な「地域の人」との交流をお願いしたい。
- ・ 状況が許されれば、FS終了後も何らかの形で当該地区や魚津市に関わりを持っていただきたい。

松倉地区の地域資源等（イメージ）





国史跡指定を目指す松倉城跡に関する取組み



松倉城跡本丸

- ① 歴史継承に向けた松倉城跡の案内板整備
(松倉自治振興会による国史跡指定に向けた環境整備・機運醸成)
- ② 認知度向上「松倉城跡探訪ツアー」
(地元観光ボランティアガイド、学芸員等との連携)
- ③ 地域ぐるみの「草刈り活動」
(松倉地区区長会による地道な維持管理)
- ④ 地域活性化イベント「戦国のろし祭り」
(地元実行委員会を中心とした地域活性化) ※R5年度で終了

① 松倉城跡もっと知って

魚津 地元自治振興会

歴史継承へ案内板一新

魚津市の松倉自治振興会は、具史跡の松倉城跡(歩道)案内板を一新した。近年の観光客の増加に伴い、案内板の更新が必要と判断された。新案内板は、松倉城跡の歴史や地理、観光情報などを詳しく紹介している。また、案内板の設置場所は、観光客の動線に沿って設置された。新案内板の設置は、松倉城跡の歴史を後世に伝える役割を果たすとともに、観光客の利便性を高めることにも貢献している。

松倉城跡は、南北朝時代から戦国時代末期の山城。30以上の支城やとりでが築かれた。城跡は、現在も残っており、観光客の増加に伴って、案内板の更新が必要と判断された。新案内板は、松倉城跡の歴史や地理、観光情報などを詳しく紹介している。また、案内板の設置場所は、観光客の動線に沿って設置された。新案内板の設置は、松倉城跡の歴史を後世に伝える役割を果たすとともに、観光客の利便性を高めることにも貢献している。

② 松倉城跡探訪ツアー

ガイドさんと巡る!

日時: **11月26日(日)** 8:45~12:30頃
(※8:45受付 9:00出発)

行先: 松倉城跡(本丸周辺、大見城平を予定)
※本丸から大見城平へは勾配のある山道で、少し長い距離を歩きます。

定員: 20名(申込順)

参加費: 500円(当日集金)



①出典: 令和5年12月19日付け北日本新聞



FSプログラム事業スケジュール（案）

▼富山県魚津市松倉地区 2024プログラムスケジュール（予定）

【6月中】

◆オンラインMTG

- ・顔合せ
- ・地域資源や課題等の事前共有・整理

【8月中下旬】

◆現地活動1回目

- ・地域を「知る」体験等
(松倉城跡散策、里山の活動や草刈り体験、地域住民との交流会)

【11月上旬】

◆現地活動2回目

- ・地域課題の整理、課題解決提言に向けた情報収集等

【翌年3月上旬】

◆現地報告会

- ・報告・提言内容の最終整理、市主催のフォーラムでの特別報告

※提案スケジュールは仮の予定です。参加学生の皆さんと地域と調整を図りながら進めていきます。
※上記スケジュール以外にも、必要に応じてオンラインにて学生と打合せを行うことを想定しています。

～ 皆さまのご参加、お待ちしております ～



受け継がれるべき地域の

歴史・文化

魚津市松倉地区の

地域資源



人の温かさ・ふれあい



地域で育まれた

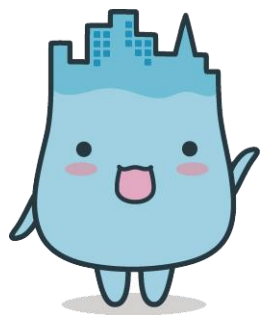
食

四季折々の恵まれた

自然

おまけ

富山県魚津市って こんなところ♪



魚津市とは!

「住みよさランキング2023」

(出典) 東洋経済新報社

第**33**位 (対象812都市中)

(富山県内第1位!)

※毎年、公的統計をもとに、それぞれの市が持つ”都市力”を、「安心度」「利便度」「快適度」「富裕度」の4つのカテゴリーに分類し、20の指標を用いて総合評価を算出してランク付けしているもの。

※ (参考) 魚津市の順位 2022年：**12**位 2021年：**36**位 2020年：**11**位

な海と山
いでしか

だから
美味しい
景色が
いっぱい
あります。

景気がいい
景色が
いっぱい
あります。

景気楼
(光と風が織りなす自然の芸術)

魚津埋没林 (国指定 特別天然記念物)

毛鷲山 (魚津港から望む魚津市の最高峰)

東山門跡分水槽 (国登録有形文化財)

「景気楼ロード」から見える夕日

たてもん祭り (エネスタ郷土文化館蔵・魚津のケンミン行事)

な海と山
いでしか

だから
美味しい
食べ物が
いっぱい
あります。

魚津港で水揚げされた鮮魚

パイ飯 (魚津のご当地グルメ・魚飯版)

ます寿し (富山を代表する郷土料理)

ホタルイカ (富山湾の神饈)

りんご (完熟した糖度の高い刈りりんご)

梨 (約140年以上の伝統ある梨産地)

魚津の景色が美しいのは海と山のおかげです

魚津市は、海抜0mから標高2400m以上の山岳地帯までが、奥行き約25kmにわたる長大な地形から成り立っています。この地形は海まで続き、年間約1000mmの豪雨が、この海と山が広がる地形から、美しい魚津の景観と文化を育むの助けをしています。ここでは、海と山の景色を同時に楽しむ、自然の恵みと日々生きる喜びに感謝することが出来ます。

北陸 富山県

魚津市

うお づ

魚津市

<https://toyama-kankou.jp/>
 魚津観光センター 0765-22-1025
 魚津市観光協会 0765-22-1200
 魚津観光協会事務局 0765-22-2244

魚津の食が美味しいのは海と山のおかげです

魚津市は、海抜0mから標高2400m以上の山岳地帯まで、奥行き約25kmにわたる長大な地形から成り立っています。この地形は海まで続き、年間約1000mmの豪雨が、この海と山が広がる地形の中で育まれる、豊かな自然の恵みと文化を育むの助けをしています。ここでは、海と山の恵みと日々生きる喜びに感謝することが出来ます。

北陸 富山県

魚津市

うお づ

魚津市

<https://toyama-kankou.jp/>
 魚津観光センター 0765-22-1025
 魚津市観光協会 0765-22-1200
 魚津観光協会事務局 0765-22-2244



魚津市の自然・地勢・歴史①

●市域・地形の特徴

- ・最大標高2415mの北アルプスに連なる山岳地帯を源として、複数の河川が市内を潤しながら富山湾に注いでいる。
- ・**市域の約70%が標高200m以上の急勾配な山地**で占められ、台地から平坦地、海岸へおだやかな斜面を形成している。
- ・海中は海底が急傾斜で深層まで落ち込んで海底の湧水に育まれた優れた漁場を形成している。

●魚津の水循環



●豊富かつ高品質な水資源



◆魚津駅前「うまい水」
(飲料可・無料)



◆うおづのうまい水 … 2017年から5年連続で最高金賞を受賞、「インターナショナル・ハイクオリティー」の授与も受けている。





魚津市の自然・地勢・歴史②

●「米騒動」発祥の地



魚津の名を全国に知らしめた「米騒動」の貴重な遺跡で、旧十二銀行（現北陸銀行）の米倉。当時の建物が現存するケースは他にはなく、1918年（大正7年）に米価高騰に苦しんでいた漁師の主婦ら数十人が、米の積み出しをやめるよう要求し、米騒動はここから始まったとも言われています。

2021年1月には「大コメ騒動」として映画化、全国上映され、米倉の倉庫を含めて魚津市内も口ケ地の1つとなりました。

●山城（松倉城跡） 城跡の一例



越中最大規模を誇り、激動の戦国時代の舞台となった山城です。

春には、昭和の初めに植えられた「ヤマザクラ」が見頃で「富山さくらの名所50選」にも選ばれるほどの見応えで、上席にふさわしく落ち着きのある桜を楽しめます。

松倉城跡は、県の指定文化財として指定されています。



魚津市の三大奇観① ～蜃気楼～

実像



蜃気楼（虚像）



蜃気楼情報

魚津市の天気

魚津市 蜃気楼ページ

蜃気楼出現予測

日付	4/22	4/23	4/24	4/25	4/26	4/27	4/28
予測 (%)	40	30	10	10	10	10	20

JMCA 日本気象協会提供

本日の蜃気楼予報

40%
可能性はあるでしょう

●春型（上位）蜃気楼の特徴など

- 時期：3月下旬～6月中
- 時間：午前11時ごろ～午後4時ごろ（※気象条件によって変化します。）
- 気温：18度以上の場合が多い（朝の冷え込みがあって日中の気温が上がるのがよい）
- 風：海岸で北北東の微風（おおむね風速3m以下）
- 天候：当日は晴れ、翌日頃から天候が崩れそうな日
- ランク：A～Eの5段階（鮮明度等によってランク分け）
- 案内：Bランク以上は花火でお知らせ（メール配信等も有）（コロナ禍は休止中）
- 予報：シーズン中はネット、新聞、TVニュース等で予報案内



魚津市の三大奇観① ~蜃気楼~



「見られんだちや証」一新

蜃気楼だめなら観覧車どう？

魚津市を訪れたものの、蜃気楼を見られなかった人に市観光協会の無料券が付いた「しんきろう見させ隊」の「見られんだちや証」が、4月からは新しくなった。ミラージュランドにある観覧車の無料券が付いた「しんきろう見させ隊」の「見られんだちや証」が、4月からは新しくなった。ミラージュランドにある観覧車の無料券が付いた「しんきろう見させ隊」の「見られんだちや証」が、4月からは新しくなった。

市観光協会発行

無料券1枚付き

「見られんだちや証」は、魚津を訪れた人に感謝の気持ちを伝えようとして、10年以上前から発行している。特典をミラージュランドの100円割引券か大観覧車の無料券（600円相当）発行日のみ有効に変更し、蜃気楼でワニのような形に変化した黒部市生田方面の写真も添えた。

しんきろう見させ隊の隊員4人が観光客の手渡し。隊員の小笠原さんは「魚津の魅力は蜃気楼ばかりじゃない。観覧車や埋文林博物館水族館もあって滞在して楽しんでほしい」と話している。

新しくなった「見られんだちや証」



魚津市「しんきろう見させ隊」

蜃気楼見られんだちや証

発生後

発生前

貴方は、自然の神秘「蜃気楼」を見ることができませんでしたが、蜃気楼の見える街「魚津」にお越しになった事をここに証します。

年 月 日 魚津市観光協会

観光に関するお問い合わせ

魚津駅前観光案内所

TEL：0765-22-2244

ホームページ：www.uzu-kankei.jp

ミラージュランド大観覧車無料乗車券

※発行日のみ有効

※本券1枚につき1名様のみ有効

※印刷し有効

富山県魚津市三ヶ 1390

TEL 0765-24-6999

【参考】

・写真

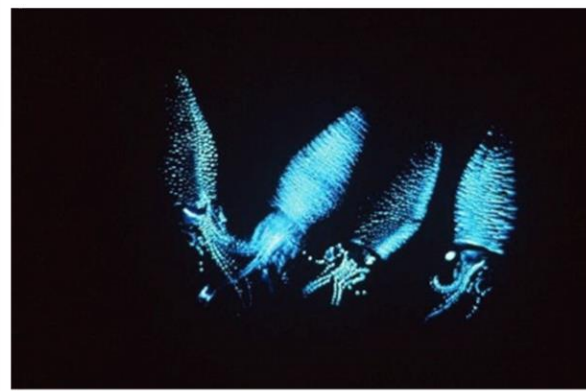
蜃気楼シーズンになると、展望地には県内外から多くの来訪者が訪れます。

・新聞記事

蜃気楼展望地付近で観光客向けに蜃気楼の解説を行う「しんきろう見させ隊」が活躍。蜃気楼が発生しなかった日には、記念に「見られんだちや証」を配布しています。



魚津市の三大奇観② ～ほたるいか～ (ホタルイカ群遊海面は国の特別天然記念物に指定)



青緑の宝石のような光を放つホタルイカ。

メスの胴長は約7cmで、腕先や眼の腹側、胴部などに1000個前後の小型の皮膚発光器をもっている。

波打ち際に打ち上げられる神秘的な「ホタルイカの身投げ」は、3月下旬から約3か月間、新月の日に魚津市から富山市水橋にかけての海岸で見ることができる。

常願寺川右岸から魚津市に至る約15km、沖合い約1.3kmまでの海域は「ホタルイカ群遊海面」として、国の天然記念物に指定されている。



ホタルイカは料理として食しても美味。

釜茹で、刺身、酢味噌和えなど…



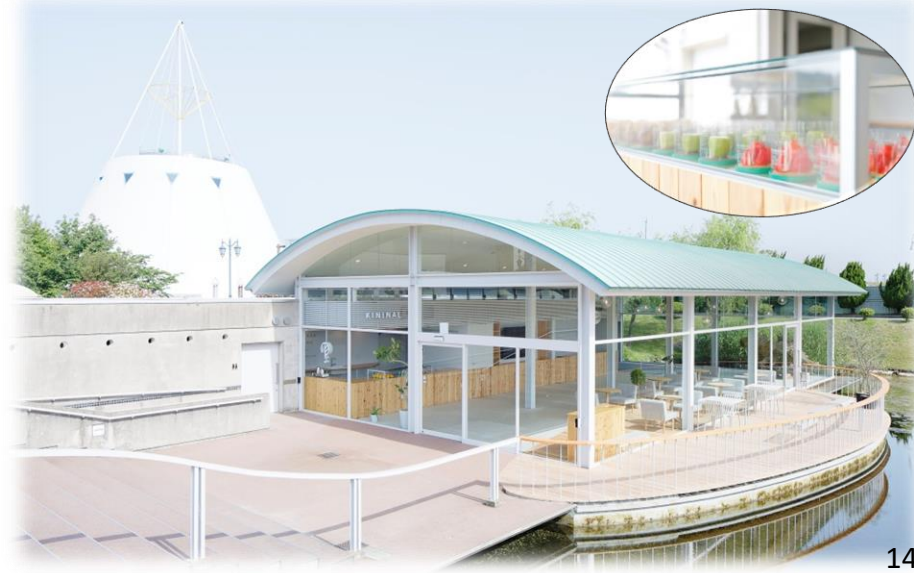
魚津市の三大奇観③ ～埋没林（特別天然記念物）～



埋没林が保存・展示される魚津埋没林博物館内（写真上下）



- ・ 魚津港からは博物館と立山連峰の景観が見渡せる。
- ・ 平成30年4月のリニューアルに伴い、お洒落なスイーツショップが併設。





魚津市内の主な観光地・観光施設（海沿い周辺）

● 魚津水族館（日本で最も歴史のある水族館）

三代目（現在）



- ◆ 1913年からの歴史があり、約410種類の生き物を常時展示。
- ◆ 日本初のアクリル製水中トンネル（写真右）

● ミラージュランド



◆ 日本海側最大級の観覧車



◆ 流れる海水プール

● 海の駅「蟹気楼」



- ◆ 地方港湾「魚津港」に隣接し、新鮮な海産物や特産品を販売
- ◆ 賑わいと憩いの場として、国交省地方整備局の「みなとオアシス」に登録
- ◆ 毎月第2・第4日曜日には「魚津の朝市」を開催



● 魚津おさかなランド



- ◆ 高度衛生管理型市場（HACCP）の水産物荷さばき施設
- ◆ 「セリ見学と市場で朝食」や「セリ見学付き宿泊」など、迫力あるセリを特別に見学・体験できる。（要予約）



魚津市内の主な観光地・観光施設（山沿い周辺）

● 東山円筒分水槽（癒しの観光スポット）



◆2020年11月に隣接地にポケットパークが整備され、来訪者数も増加している。（写真下）



◆“日本一美しい円筒分水槽とも評され、2020年4月に国の登録有形文化財（建造物）に登録された。（写真上）

● 花の森・天神山ガーデン



【花木の一例】

- ・スイセン
3月中旬～4月中旬
- ・ハナモモ、牡丹
4月中旬
- ・シャクヤク
5月～6月上旬
- ・アジサイ
6月中

◆3月～6月が見頃で、9,000㎡の園内で多種多様な花木を楽しむことができる。

● 片貝山ノ守キャンプ場



◆片貝川上流にある県定公園内に整備された自然豊かなキャンプ場。バーベキューのほかに川遊びや釣りが楽しめる。

● 洞杉群



◆樹齢500年以上のタテヤマ杉群。古木で幹に空洞があることから「洞杉」と呼ばれ、最大のもので幹回りが約16mほどある。

◆洞杉群周辺は、遊歩道が整備されており、魚津のパワースポットとして人気がある。（観覧時期は5月～11月頃まで）



魚津の四季折々 「旬の食：魚介類①」

ゲンゲ (幻魚)

(旬：12～2月)

例：ゲンゲの唐揚げ

ふんわりやわらかな食感が絶妙な味わいを持ち、コラーゲンたっぷりの深海魚。



ホタルイカ

(旬：3～5月)

例：酢味噌和え

プリプリの大きな体、トロリとした中身。抜群の鮮度を誇る味覚は絶品。

ブリ

(旬：12～2月)

例：ブリ大根



冬

春



秋

夏



バイ貝

(旬：5～9月)

例：魚津バイ飯

しっかりとした歯ごたえのある身は噛むほどに増す独特の旨みが癖になる。

2018年5月18日、特許庁の地域団体商標に登録。(魚津漁協)

ウマヅラハギ

(旬：9～3月)

例：薄造り(肝添え) 煮付けなど

クセがなく上品な甘みと淡泊な白身はフグに匹敵する味わいがある。





魚津の四季折々 「旬の食：魚介類②」

●紅ズワイガニ … (K)



●甘エビ … (A)



●バイ貝 … (B)



**魚津の
AKB!**



魚津の四季折々 「旬の食：果樹」 (一例)



● **実は「果樹栽培」が盛んな土地** (りんご、梨、ぶどう、桃)
ロット(栽培面積)が少ない分、ほとんどが農家の軒先販売で知られていないが、味は絶品。

※「**加積りんご**」は、
H20年に地域団体商標に登録され、ブランド化が図られています。



魚津産りんご

下野方 梨

魚津産 桃



西布施ぶどう



代表的な祭り・イベント



ユネスコ無形文化遺産
魚津のタテモン行事

豊漁と航海安全を祈り、7基の「たてもん」が勇壮に曳き回される。
開催時期：8月の第一金・土曜日の夜

◆よっしゃ来い!!CHOUROKUまつり (5月中旬)



じゃんとい魚津まつり

(8月第1金・土・日開催)

魚津が1年で一番熱く
盛り上がるイベント

たてもん祭り (写真上)

海上花火大会 (写真右)

せり込蝶六街流し (写真下)



◆魚津「かにの陣」(毎年2月第1日曜)

「かに籠漁」発祥の地で、獲れたて紅ズワイガニの即売、
食べ放題、カニ鍋、浜焼きなど、カニづくしのイベント



魚津市のetc.

● 魚津駅前の飲食店街「柿の木割り」



人口比率の市内の飲み屋の件数が全国トップクラス…（1位か2位）だったとか。駅前周辺だけでも200軒程度の美味しい飲食店が集中。

● サイクルルートの整備



湾岸サイクリングコース、田園サイクリングコースのほか、湾岸・田園コースを結ぶ接続ルートが整備され、約35kmの周遊ルートが整備された。

● 魚津の地酒

魚津市内の酒蔵で製造される地酒。

切れのあるすっきりとした風味の辛口の地酒。

新鮮な魚料理との相性は抜群。



● ジビエ料理も普及・推進中

山間地が多い魚津では、イノシシやクマなどの獣害被害が多発。獣肉を利活用した取組を展開。





ぜひFS事業で富山県魚津市へお越しください！

みんなで
活動をつ
みんなの
つなが

まちづくり

ちの課題は、
えを出し合い、
けることで
らしを豊かにでき、
のある地域をつくる。

